

海南市横断歩道橋個別施設計画

令和7年7月

海南市まちづくり部建設課

1. はじめに

1) 背景

海南市が管理する黒江駅前歩道橋は、1966 年の供用開始から 50 年以上が経過し、今後、適切な維持管理が必要とされています。

そのような中、平成 26 年 7 月に施行された道路法の改正により、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5 年に 1 度の頻度で近接目視による点検が義務付けられました。

点検結果に基づき、必要な措置を適切な時期に行うことで、横断歩道橋の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ることが必要となっています。

2) 目的

定期点検結果に基づき計画的な維持管理を行うことで、横断歩道橋の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ることを目的とします。

2. 対象施設

黒江駅前歩道橋 (路線名：県道三田海南線)

3. 基本方針

1) 定期点検は下記の要領（以下「点検要領」という。）に基づき実施します。

・横断歩道橋定期点検要領（平成 31 年 2 月 国交通省 道路局）

・歩道橋定期点検要領（平成 31 年 3 月 国交通省 道路局・技術課）

3) 点検要領に基づき、部材区分毎に健全度を評価します。部材の重要度や損傷の状況などを総合的に勘案し、歩道橋全体の健全度を診断することで個別施設の状態を把握します。

健全性の判定区分

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

- 4) 点検結果は、維持・補修等の計画を立案するうえで参考とする基礎的な資料であるため、適切な方法で記録し、蓄積します。
- 5) 定期点検結果に基づき、必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に行い、歩道橋の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 6) 定期点検結果及び修繕・更新履歴等はその都度、更新します。

4. 新技術等の活用方針

点検、計画の見直しや長寿命化修繕工事を実施にあたっては、NETIS 登録技術や点検支援技術性能カタログなどを参考とし、事業の効率化やコスト縮減に努めます。

5. 費用の縮減に関する具体的な方針

点検結果や修繕工事の実施状況から、メンテナンスサイクルを確立させ、ライフサイクルコストの縮減に努めます。また、社会経済情勢や施設の利用状況等の変化を反映し、集約化・撤去、機能縮小の検討を行います。

6. 計画期間

定期点検は5年に1度の頻度で行うことから、前回の点検時期との間隔を明らかにするため、計画期間は10年間とします。

7. 優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持管理が図れるよう必要措置を講じます。

8. 判定区分の割合

令和2年度の定期点検結果では、定期点検対象である1箇所が健全性Ⅲとなっており、早期の措置が必要な状況となっています。

9. 修繕等措置の着手状況

令和3年度において、必要な措置を講じました。

【2 巡目】

点検年度 (R1～R5)	対策数 (Ⅲ、Ⅳ判定)	対策状況			
		着手数	着手率	完了数	完了率
R1	0	0	0.0%	0	0.0%
R2	1	1	100.0%	1	100.0%
R3	0	0	0.0%	0	0.0%
R4	0	0	0.0%	0	0.0%
R5	0	0	0.0%	0	0.0%
合計	1		0.0%		0.0%

表1 修繕等措置の対策状況

別紙 1 横断歩道橋 点検・修繕計画

番号	歩道橋名	路線名	所在地	延長 (m)	幅員 (m)	建設 年次	最新 点検 年次	健全 性	過去の対策内容・時期										対策の内容・時期										補修内容	補修に係る 概算事業費 (千円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
1	黒江駅前歩道橋	県道三田海南線	岡田	35.8	3.4	1966	R2	Ⅲ								点検	工事							点検								修繕完了(R3)